

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2022年6月現在

基本情報					
フリガナ氏名	タイラ平	コウスケ光佑	生年	1991年	
氏名(英字)	Taira	Kosuke	メールアドレス	ktaira(a)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2012年4月 同志社大学法学部法律学科 入学 2016年3月 同志社大学法学部法律学科 卒業 2016年4月 同志社大学大学院法学研究科政治学専攻 博士課程(前期課程)入学 2018年3月 同志社大学大学院法学研究科政治学専攻 博士課程(前期課程)修了 2018年4月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(後期課程)入学 2022年3月 同志社大学大学院文学研究科哲学専攻 博士課程(後期課程)修了				
職歴	2016年4月-2018年3月 同志社大学法学部 ティーチング・アシスタント 2018年4月-2022年3月 同志社大学文学部 ティーチング・アシスタント 2022年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構及び文学部 特別任用助手(有期研究員)				
指導教員	庭田茂吉教授	取得学位	博士(哲学)	専修外国語・読解可能な外国語	英語、仏語
研究活動					
研究分野	フランス政治哲学				
科研費分類による研究分野	政治学およびその関連分野				
研究テーマ	ルソーの政治思想				
研究概要	博士論文はジャン＝ジャック・ルソーの民主主義思想をテーマに書きました。これからは、ルソー研究に足場を置きつつ、より現代的な課題に取り組んでいきたいと思っています。例えば、ポピュリズムについて。ポピュリズムは民主主義に影のようにつきまとっていますが、それらはどのように区別されるのか。その手掛かりを、ルソーのいう一般意志と全体意志との違いに求めることができるのではないかと考えています。				
研究業績	【論文】 「ジャン＝ジャック・ルソーにおける政治的身体の概念」、平光佑、『同志社哲学年報』第42号、pp.42-58(査読あり)、2019年9月。 「ルソーにおける道徳と政治」、平光佑、『倫理学研究』第51号、pp.61-76(査読あり)、2021年6月。 「ルソーの「一般意志」概念の再検討—理性、情念との関係を中心に」、平光佑、『哲學論究』第35号、pp.19-32(査読あり)、2021年8月。 【口頭発表】 「ジャン＝ジャック・ルソーにおける政治的身体について」、平光佑(Societas Philosophiae Doshisha 2018年度大会(於同志社大学)) 「ルソーにおける国家と社会:政治的身体論の観点から」、平光佑(第38回政治哲学研究会(於京都府立医科大学)) 「ルソーにおける道徳と政治:弱さの概念を手掛かりに」、平光佑(第72回関西倫理学会(於同志社大学)) 「ルソーにおける利益概念の相対性」、平光佑(Societas Philosophiae Doshisha 2021年度大会(オンライン配信))				
所属学会	Societas Philosophiae Doshisha(同志社哲学会)、関西倫理学会、政治哲学研究会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学、高校等)				
進路					
自己PR	現代社会が直面する諸問題に対して、思想・哲学を勉強してきた人間として私なりに誠実に向き合いたいと思います。過剰反応か無関心かの両極端に振れることなく、時には当事者として、時には第三者として、適切な距離を保ちながら問題にコミットすること。それが誠実であるということだと思います。				
取得資格等	教員免許 中学(社会)、高校(地歴・公民)				

※メールアドレスの(a)は@を表しています